

2025年

4月号

大野城市
北コミ

そら 宙まどか通信

vol.97

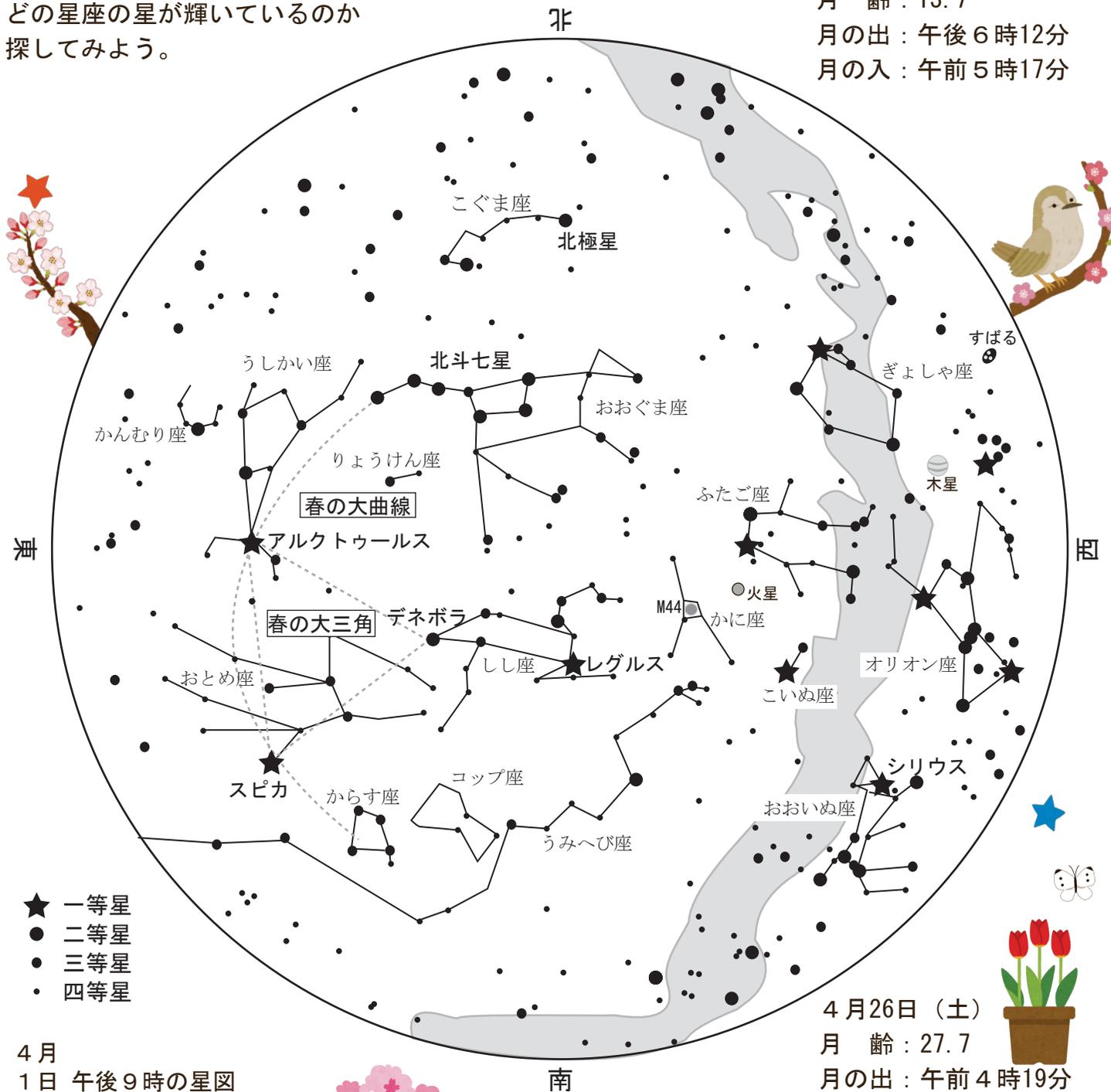
空を見上げて、
どの星座の星が輝いているのか
探してみよう。

4月12日(土)

月 齢 : 13.7

月の出 : 午後6時12分

月の入 : 午前5時17分



- ★ 一等星
- 二等星
- 三等星
- 四等星

4月
1日 午後9時の星図
15日 午後8時の星図

4月26日(土)

月 齢 : 27.7

月の出 : 午前4時19分

月の入 : 午後5時13分

大野城市 北コミュニティセンター

〒816-0912 福岡県大野城市御笠川一丁目17-1

休館日 : 毎月第3火曜日 (休館日が祝日の場合はその翌日)
年末年始 (12月28日から翌年1月4日まで)

TEL: 092-513-0099

開館時間 : 午前9時~午後9時

FAX: 092-504-5102

今月のイベント

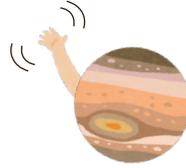
4月12日(土)
午後7時～午後8時50分



「しし座を見つけよう」

春を代表する大きなライオンの星座「しし座」を夜空で探してみよう。この日は月と火星の間です。

4月26日(土)
午後7時～午後8時50分



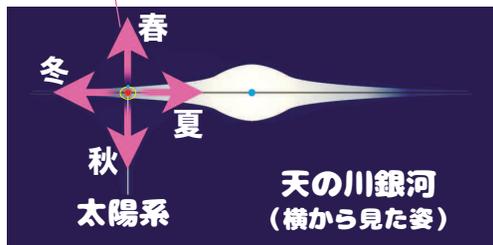
「木星の見納め」

長らく夜空を賑わせてくれていた木星もそろそろ見えなくなる時期です。今のうちにしっかり見ておこう。



各種SNS・北コミHP
はこちらから

北半球の季節



4月天文カレンダー

- 5日(土) 月と火星が接近(夕方～翌未明)
上弦の月 ●
月面Xが見える(22時10分ごろ)
- 6日(日) 月と火星が接近
- 13日(日) 満月 ○(ピンクムーン)
(今年最少の満月)
- 14日(月) 月の距離が遠い(40万6295km)
- 17日(木) 春の土用(太陽黄経27°)
- 20日(日) 穀雨(太陽黄経30°)
- 21日(月) 下弦の月 ●
- 22日(火) 水星が西方最大離角
4月こと座流星群が極大
(出現期間: 4/16~4/24)
- 25日(金) 月と土星が接近(未明～明け方)
月と金星が並ぶ(未明～明け方)
- 26日(土) 月と水星が接近(明け方)
- 27日(日) 金星が最大光度(-4.8等)
- 28日(月) 新月 ●
月の距離が近い(35万7119km)
- 29日(火) 金星と土星が接近(7時30分ごろ)

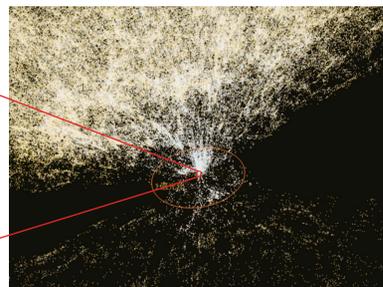
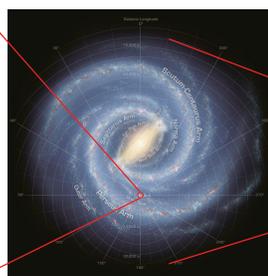
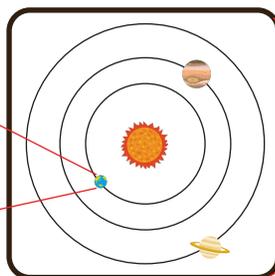
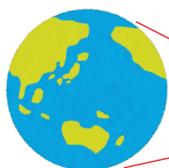
～7千天文情報～

「春の夜空は宇宙の窓」

突然ですが、私たちはどこの星に住んでいるかご存じでしょうか。そうです、地球という星に住んでいますね。では、地球はどこにあるのでしょうか。地球は太陽系の中にあります。太陽を中心にしてそれを回っている様々な天体たちをまとめて「太陽系」と呼びます。それでは最後に、太陽系はどこにあるのでしょうか。それは「天の川銀河」と呼ばれる銀河の中です。天の川銀河は太陽のほかに、星座を形作る星々など1千億個以上の星が集まっているところです。そして、銀河は宇宙に1兆個以上はあるとされています。

さて、私たちの住む地球がある「天の川銀河」は渦巻を持つ円盤状の銀河で、真横から見ると薄い凸レンズのような形をしています。そのため円盤の方向を見ると、たくさんの星が見えます(天の川がある)が、それと垂直な方向には星があまりありません。太陽系は天の川銀河の渦巻に対して約60°斜めになっているため、地球が春と秋の頃にちょうど天の川の垂直な方向(星が少ない方向)が夜空になります。夏のように華やかな天の川がなく、冬のように明るい星たちがたくさんあるわけでもない、ちょっと寂しい空なのですが、実はこの季節ならではの見ものがあります。それは、天の川銀河の外にある別の「銀河」たちです。特に春は頭の上に星が少ない領域がくるため遠くの宇宙を見通すことができ、銀河がたくさん見えます。このことから春の夜空を「宇宙の窓」と呼んだりします。

この春、暗いところで双眼鏡や望遠鏡をのぞく機会があったら、ぜひ様々な銀河を探してみてくださいね。



←白い部分は全て銀河
この点一つひとつに星が
数千億個含まれている。

地球がある天の川銀河も
この点の中の一つ

(画像: 国立天文台、Mitaka)